



地域の拠点 琴浦自治会館

琴浦では、民生委員や在宅福祉委員が自動的に自治会の福祉部員になります。これは他の部門も同様で、市の各種委員、青少年育成委員や防犯指導委員など、自動的に文化教育や警備の部員になります。これにより、

自治会の運営

琴浦では、民生委員や在宅福祉委員が自動的に自治会の福祉部員になります。これは他の部門も同様で、市の各種委員、青少年育成委員や防犯指導委員など、自動的に文化教育や警備の部員になります。これにより、

へ給水車を依頼。電気の完全復旧が見込まれず、2日目も会館を開放するつもりでしたが、午後8時に琴浦地区内すべてに通電。待機・避難者の全員から、喜びの拍手が起りました。  
2日間を通して改善すべき点は多々あり、市役所、行政の対応にも注目を付けたいところがあります。しかし、会館を中心にして人々に安心感を与えることができた、という自負はあります。幸いに大きな被害もなく、緊張感を保ちながら避難所を開設したことは、災害への対応として貴重な経験になりました。そして何よりも、地区内に助け合いの精神が醸成されたことは得難いことでした。

百万遍講（女性部）



市役所と自治会との間に、情報のギャップを少なくすることができます。  
高齢者の一人世帯については、独自にリストを作成しています。市では昨年、「高齢者声かけ見守り巡回事業」を実施しています。我々は数年前から行っています。「わが家の防災メモ」(下図参照)を高齢者宅などに配り回収。見守りを含め、何かあったときの連絡先などを自治会が把握している。現在はその情報を更新しているところです。  
自治会の事業を担当する各部は、防災・防犯の警備部、高齢者向けのサロン事業などを行う福祉部、ほかにも各種レクリエーションなどを開催する文化教育部や社会体育部などがあります。

自治会の主催ではないのですが、毎週水曜の朝に会館脇で開く「姉っこ市」は、新鮮な野菜などが好評で、いつも売り切れているようです。早朝5時開催、皆さんもお越しください。  
何年前か前、個人情報保護法が施行され、行政から自治会に住民個々の情報が、あまり伝わらなくなりました。他人にあまり知られたくないプライバシーを守る

ということなのでしようが、個人としてはせめて自治会にはオープンにすべきと思う。人と人とのつながりが希薄な、現代社会の弊害を助長するだけだと思います。  
自治会の立ち位置、スタンスは文字どおりに「自治」。住民にできることは、できるだけ住民自身がやる。できないことを市役所、行政が補う。自治会としては、その間の調整を行う。「行政におんぶにだっこ」はしないつもりです。数年前、市役所庁舎に怒鳴り込んだこともありますが、市当局とは信頼関係を築かなければと考えています。

『地域力』

をテーマにした特集

を、今号から不定期に掲載します。取り上げる団体(個人)はその都度変わります。  
『地域力』とは明確に定義付けされている言葉ではありませんが、「地域のさまざまな課題(防災、防犯、教育、育児、経済、賑わいの創出などあらゆる分野)を自ら解決する力」とお考えください。地域の総合力と言い換えることもできます。市民一人ひとりを含め、行政、企業、各種団体、グループほか、にかほ市を構成するすべてが対象になります。  
本特集で紹介する取り組みや事例が、各方面へ派生する。他を刺激し影響を与える。そして、にかほの地域力が培われ高まっていく。そういった気運の高まりを願い、前向きな活動を応援する特集です。



行政におんぶにだっこはしない

琴浦自治会

3月11日に発生した東日本大震災。午後2時46分の地震から、ほぼ丸1日間、市内全域が停電しました。にかほ市内では大きな被害はなかったものの、落ち着かない、とても不安な時間でした。

そんな中、琴浦自治会は地震発生からわずか十数分で会館に自主避難所を開設し、同時に高齢者世帯の見回りを実施。1年前に購入した発電機のおかげで避難所となった会館には照明が灯り、外に向けてサーチライトが照らされました。街灯のつかない暗い町で、人々の心が安らぐ明かりだったといえます。琴浦地区内外から多くの人が立ち寄りました。

自治組織として、行政に頼らない心構えと迅速な行動、普段からの備えを取材したことが、本特集のきっかけとなりました。震災当日の琴浦の様子や日々の自治会運営について紹介します。

保科秋男会長談話

3月11日の出来事

大震災当日を振り返ります。地震発生後、自治会館に役員などが集結し、高齢者の一人世帯を見回り。声をかけることで非常に安心されたようです。その後も福祉部員が安否と健康状態の確認のために巡回しています。会館では、昨年、自主防災組織への消防資器材補助金で購入した発電機を稼働させ、照明と暖房、テレビが使用できる状態になりました。大変な状況で、琴浦だけでなく、東北地方のほぼ全域が停電していることも分かりました。それから投光器で建物の外に向かって明かりを照射。消防団が「会館を開放して」と巡回して周知しました。健康に不安を抱える人もいることから、住民の中で看護師の人が血圧測定と健康相談・指導も

家ではテレビが見られない。電話もつながらない。暖房が確保できない家も多かった。町全体が暗い中、琴浦の住民だけでなく、明かりを頼りにたくさんの人々が立ち寄りました。  
20〜30名ほど会館(避難所)に宿泊しようとしたことが、気持ちに余裕が戻ってきたことと、慣れない場所であることから結局、宿泊したのは、役員を含めて8名でした。  
翌朝、米2升を炊いておにぎりを準備。この日も暖をとる人やニュースを見る人、携帯電話の充電をする人が訪れました。地区内にある住宅の受水槽の動力が停止したことから、市役所

琴浦オリジナル

琴浦自治会 福祉部

わが家の防災メモ

火事・救急 119 番 警察 110 番

住所 にかほ市平沢字

氏名 電話

緊急時連絡先

本人との関係	連絡先	電話
--------	-----	----

地域の民生委員

氏名	電話番号	氏名	電話番号
----	------	----	------

在宅福祉委員

氏名	電話番号	氏名	電話番号
----	------	----	------

緊急連絡先

連絡先	電話	連絡先	電話
市・子育て長寿支援課	0184-32-3042		
市・福祉事務所	0184-32-3034		
消防署	0184-38-2311		
警察署	0184-37-2100		
ガス水道局	0184-37-3131		

家族の連絡先

氏名	電話(会社・学校)	住所	メモ
----	-----------	----	----

親戚知人の連絡先

氏名	電話	住所	メモ(家族関係等)
----	----	----	-----------

あなたの避難場所

あなたの救急用データ

氏名	生年月日	血液型	アレルギー	常備薬	持病
----	------	-----	-------	-----	----

!! 訪問販売・家屋調査(白アリ等)・振り込め詐欺等には十分注意ください!!

【琴浦自治会データ】(23.3.31現在)

世帯数：387世帯(26班)

人口：1,112人

会計規模：約600万円

自治会費：12,000円/世帯

執行部組織：会長、副会長、事務局長、総務・財務・警備・福祉・厚生・文化教育・社会体育の各部長

※26名(班長)の代議員制